

新たな京地どり作出に向けた検討会

現在の京地どりの肉質は高く評価されていますが、発育が遅く生産コストが高いことから、肉質を維持したまま、発育を早める改良が求められています。

そこで当センターでは、新たな京地どり作出に向け、いくつかの候補鶏の発育及び肉質調査を行ってきました。

7 月 5 日に京地どり生産・流通推進協議会と家畜改良センター、府内関係者 16 名により、発育調査結果の検討と食味調査を実施し、新たな京地どり作出に向けて協議を行い候補鶏を選定しました。参加者からは、候補鶏の食味は現京地どりと変わらずおいしく、発育が良いと高い評価を得ました。

今後は、新京地どりの生産性向上による生産拡大を目指して、給与飼料の検討等を行っていきます。



協議の様子



味、硬さなどの食味調査の様子